

資本コストや株価を意識した経営の実現に 向けた対応について

2025年11月13日 アイビーシー株式会社



# ● 現状認識サマリー



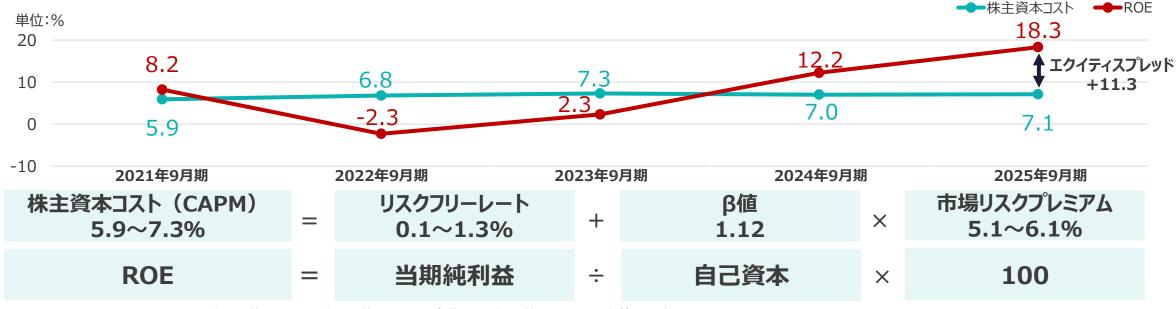
項目	2024年9月期	2025年9月期	状況
PBR	1.65倍	2.58倍	PBRは株価の上昇により2.58倍となり、前期比で 0.93ポイント上昇。
PER	13.50倍	14.09倍	PERは利益成長とともに株価も上昇し、前期比で0.59ポイント上昇。
ROE	12.2%	18.3%	2024年9月期から2期連続でROEが株主資本コストを上回り、ROEの情報通信業平均10.68%を大きく超える水準まで上昇。
株主資本コスト (CAPM)	7.0%	7.1%	
ROIC	9.8%	12.9%	純利益の大幅な増加により、2024年9月期から2期連続でROICが WACCを上回り、ROICの情報通信業平均10.5%を超える水準まで
加重平均資本コスト (WACC)	4.9%	5.4%	
売上高	2,091,026千円	2,404,511千円	コロナ禍後、業績は順調に拡大し、2025年9月期は過去最高の売上 高を達成。
年度末時価総額	3,107,915千円	5,786,110千円	株価は2024年9月期末から約2倍となり、時価総額増加率は86.1%。

# ● 現状認識·分析①



### ROE・株主資本コスト

- 株主資本コストは、CAPMで5.9~7.3%と算出。
- 2024年9月期から2期連続でROEが株主資本コストを上回り、ROEの情報通信業平均10.68%\*\*を大きく超える水準まで上昇。



※ リスクフリーレート : 2021年9月期から2025年9月期において、各期の10年国債利回りの平均値を設定

※ β値 : 弊社株式のリターン(収益率)とTOPIXのリターンの共分散をTOPIXのリターンの分散で割った値

リターンの計算は、頻度は月次、期間は2020年10月から2025年9月の5年間(=2021年9月期~2025年9月期)を採用

※ 市場リスクプレミアム : Pablo Fernandez他,IESE Business School,「Survey: Market Risk Premium and Risk-Free Rate」,各年版(2020~2025年), IESE Working

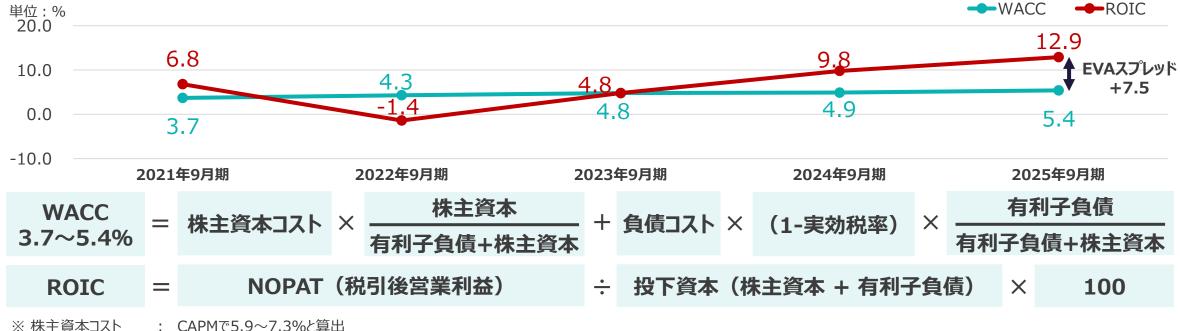
Papers.を引用

# 現状認識·分析②



### ROIC・WACC(加重平均資本コスト)

- 資本コストは、WACCで3.7~5.4%と算出。
- 純利益の大幅な増加により、2024年9月期から2期連続でROICがWACCを上回り、ROICの情報通信業平均 10.5%を超える水準まで上昇。



※ 負債コスト

CAPMで5.9~7.3%と算出

支払利息を有利子負債で割った値

、税率×(1+住民税率+地方法人税率)+事業税率+事業税標準税率×特別法人事業税率)÷(1+事業税率+事業税標準税率×特別法人事業税率)

の計算式で算出

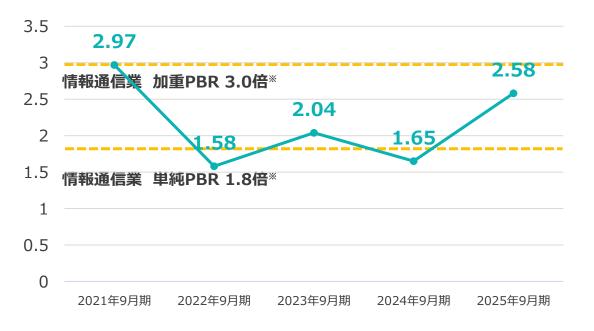
# ■ 現状認識·分析③



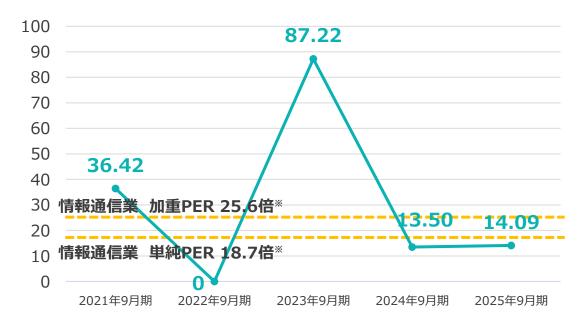
### **PBR·PER**

- PBRは株価の上昇により2.58倍となり、前期比で 0.93ポイント上昇。
- PERは利益成長とともに株価も上昇し、前期比で0.59ポイント上昇。

#### ■PBRの推移



### ■PERの推移



# ● 現状認識・分析4



### 時価総額

- コロナ禍後、業績は順調に拡大し、2025年9月期は過去最高の売上高を達成。
- 株価は2024年9月期末から約2倍となり、時価総額増加率は86.1%。



# ● 今後の課題



### 資本収益性向上と株主資本コスト低減への取り組み

